

学校運営協議会議事録

校名	府立阪南高校学校
校長名	照屋 篤

開催日時	令和5年1月20日(金)13:00～14:00
開催場所	校長室
出席者(委員)	千葉 一夫委員長、撫 俊男副委員長、松村 隆委員(欠席) 小嶋 憲子委員、酒見 真也委員、松本 幸治委員
協議資料	令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)、令和5年度学校経営計画(案)
備考	

議題等(次第順)	
協議 (1)「令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)」について (2)「令和5年度学校経営計画(案)」について 報告	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○協議</p> <p>(1) (校長より「令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)」について報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断の結果と分析について 生徒からの評価が高い項目が多かった。新型コロナの影響を受け、いろいろなことができない中であつたが、生徒が学校教育を評価してくれたことはよかった。今年度「コーラス大会」の復活もできた。まもなく卒業する3年生に、この経験をさせてあげられなかったことは残念。 ・リーディングGIGAハイスクール研究指定校について 本校は、ICTの充実を図るため、学校経営推進費事業等で希望してきたが、備え付けのプロジェクトがなかなか叶わなかった。今回、本事業の指定を受けることになり、HR教室へ電子黒板機能付きプロジェクトが配備される。 ・遅刻者数を数値目標として掲げているが、朝の校門指導等もふまえ、改善されている。 ・ケーブルTVの「テレビ学校説明会」の実施について、本校が推進・取りまとめ等を行ってきた。47校が参加。Youtubeでも配信されている。本校の紹介動画の視聴回数は全体で2番めと多く、効果があつたと考えている。 <p>(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの充実が図られるとのこと。プレゼン能力の向上は、3観点で行う観点別学習状況評価ともつながってくる。小学校でも、ICTを活用するようになり、人の考えを共有するなど、幅が広がった。大学でも、活用が進んでいる。 →さまざまな活用事例をふまえつつ、今回配備されるプロジェクトも含め、ICTの活用を引き続き推進する。 ・ICTの活用が図られ始めた当初は「ICTを使う」ことに重点がおかれたように思う。ぜひ「人間力などの育成」にも取り組んでほしい。 →コミュニケーション能力の必要性については、学校としても感じているところ。ICT活用での工夫も含め、生徒同士の意見や考えの共有、また主体的・対話的で深い学びの実現をとおして、生徒のコミュニケーション能力の向上に努めたい。 ・ケーブルTVの取り組みは、素晴らしい。全国にも発信できるような取り組みではないか。 →引き続き継続できるよう、取り組む。スポンサー等が必要という話もあるので、各方面と連携しながら取り組みたい。 ・地域とのつながり(連携)について、コロナ以前は文化祭にも来ることができていた。若い人たち(生徒たち)の考えなどは、参考になる。可能であれば、敬老大会などにも参加してもらえたら、と思う。 →地域に根差した学校として、地域とのつながりを大事にしながら、学校教育活動を図っていきたい。 <p>(2) (校長より「令和5年度学校経営計画(案)」について報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きく変更したところはないが、変更点したのは、「リーディングGIGAハイスクール活用推進」「教員のストレスチェック」の記述等である。 <p>(委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動のバリエーションを増やすことは可能か。 →現在、運動部19、文化部11で教員数に比べ多い状況ではある。今後も工夫しながら取り組む。 ・阪南の先生方は、部活動なども含め、よく頑張っていると思う。 →ありがたいご意見である。引き続き頑張らせていただく。 <p>令和5年度学校経営計画について承認された。</p> <p>○報告 特になし</p> <p>○その他</p>	
次回の会議日程	
日時	
会場	